

AWA

2013 Vol.20

awa onna akindo jyuku



おんなあきんど塾

AWAおんなあきんど塾・徳島市主催



特集

第3回

きらめく女性大賞

最終選考会・表彰式開催

個性的で、活力と魅力あふれた徳島を目指して!!

さまざまな分野で活躍する
イキイキと働く女性に感動!!

- きらきらと女性が輝きながら働ける会社で
越久 裕子 / 西精工株式会社 総務部 総務課 労務係
- コミレスで、地域の皆様の美味しく楽しく
元気な毎日をお手伝いしたい!
新野 和枝 / コミュニティ・レストランさくらcafe店長 管理栄養士
- やる・つたえる・つなぐ・たのしむ
瀬戸 恵深 / 月見ヶ丘海浜公園 所長
- 機械づくりから食品の安全を守りたい!
~立ち上がれ、徳島「メカ女子」!
武市 真希 / 四国化工機株式会社 技術センター 無菌技術研究課
- 食べ物で徳島を元気にする!
研究する栄養士の熱い想い
堤 理恵 / 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
実践栄養学分野栄養学博士
- 仕事への想いと意義
松永 七重 / 株式会社BIJIN group 佐古店店長
- ライフセービングという生き方
源 純夏 / 徳島ライフセービングクラブ 代表・スイミングアドバイザー
- 女性と家族の人生の伴走者・・・
「命を繋いでいく」それが助産師です
森脇 智秋 / 徳島文理大学 助産学専攻科 准教授

きらめく女性限定! スペシャルウォーキングステージ
歩くだけで美しく

[講師] 青江 文、下谷 和宏

(AWAおんなあきんど塾)

第3回

きらめく女性大賞

～最終選考会・表彰式開催～



きらめく女性たちの熱き魂に感動

AWAおんなあきんど塾とは、徳島の地域経済活性化のため、知恵と行動でその方策を探り、かつ取り組みを推進するために、平成7年に徳島市が呼びかけて結成された女性経営者の集まりです。徳島市と同塾では、活力あるまちづくりを目指してさまざまな活動を行っているなか、今年度も「きらめく女性大賞」を開催いたしました。

今回で3回目となりますこの賞は、徳島を元気づけようと一生懸命に働いている女性の活躍を応援し、新たな起業や活動を促進して地域経済の発展につなげることを目的とするものです。

一次選考を通過した8人のプレゼンテーションと公開審査並びに表彰式を、平成25年2月16日(土)の午後5時からふれあい健康館(徳島市沖浜東2)で開催しました。開場時には徳島市イメージアップキャラクター「トクシィ」が来場者を出迎え、活気のある最終選考会の始まりとなりました。この時の颯爽ときらめいている女性たちの発表を誌面でご覧いただき、徳島の輝く未来(あす)をひらく力をともに感じてください。



●大好きな徳島で「きらきらと輝きながら働くお母さん」として働き続けます。
西精工株式会社 総務部 総務課 労務係 越久裕子さん



●唄って踊れる栄養士が、誰かのためになる仕事を楽しく頑張ります。
コミュニティ・レストランさくらcafe店長 管理栄養士 新野和枝さん



●やりたいことが実現できるように人と人を繋げ、みんなで楽しめる仕事を目標に。
月見ヶ丘海浜公園 所長 瀬戸恵深さん



●もっと機械に興味を持ってもらい、徳島に「メカ女子」が増えることが私の願い。
四国化工機株式会社 技術センター 無菌技術研究課 武市真希さん



ごあいさつ

徳島市長

原 秀樹

きらめく女性大賞では、いつも「阿波おんな」の生き生きときらめいている姿に徳島らしさを実感いたしますとともに、これまでの入賞者の方々が、柔軟な発想力と積極的な行動力を果敢に発揮し、様々な分野で華々しく活躍されておりますことは、本当に心強い限りでございます。このたび、「私と仕事」というテーマで開催いたしました「第3回きらめく女性大賞」には、更にレベルアップし、進化を感じさせる多くの応募があり、最終選考会場にも多数の方々にご来場いただくなど、回を重ねるごとに本大賞への注目が大きくなっていることを確信いたしました。

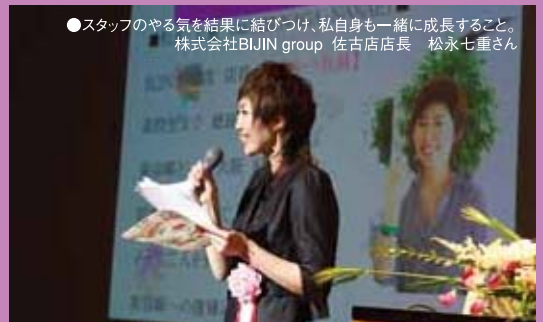
私も審査委員として、見事に1次選考を通過された皆様方の華やかな姿を拝見させていただきましたが、どのプレゼンテーションも情熱的で郷土愛に満ち、改めて「阿波おんな」の計り知れない魅力とともに、地域の活性化、ひいては本市の明るい未来につながる無限の可能性に胸を打たれた次第です。

本市におきましても、そんな「阿波おんな」の皆様、女性らしい視点やアイデア、積極的な行動力で様々な分野にチャレンジしていただけるよう、多様な施策を展開し、頑張る女性が夢をかなえられる舞台「心おどる水都・とくしま」の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆様方の力強いご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、「第3回きらめく女性大賞」の開催にあたり、多大なるご尽力をいただきましたAWAおんなあきんど塾の皆さま、お忙しい中ご審査を賜りました委員の方々、関係各位に深く感謝申し上げますとともに、生き生きと輝く徳島の女性の皆様の更なるご健勝とご活躍を、心からご期待申し上げます。



●食べ物を選ぶ力、生きる力をサポートしたいと考えています。
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 医学博士
実践栄養学分野栄養学博士 堤 理恵さん



●スタッフのやる気の結果に結びつけ、私自身も一緒に成長すること。
株式会社BIJIN group 佐古店店長 松永七重さん



●水辺で楽しく安全に遊べる環境と、水辺から徳島を活性化していきたい。
徳島ライフセービングクラブ 代表・スミングアドバイザー 源 純夏さん



●赤ちゃんから元気のエネルギーをもらい、パワーアップしています。
徳島文理大学 助産学専攻科 准教授 森脇智秋さん



審査委員からの感想

きらめく女性たちの熱意溢れるプレゼンテーションが終了し、難しい審査をされた8人の審査委員の感想を一言うかがいました。(順不同)

一般社団法人徳島新聞社
理事総務局長 **米田 豊彦氏**

大変完成度の高いプレゼンテーションばかりでした。瀬戸恵深さんをはじめ、皆さんとてもきららとしていて、私どもも非常に元気をいただきました。是非、これからも頑張ってください。

NHK徳島放送局 局長 **萩原 秀信氏**

森脇智秋さんのプレゼンで、改めて助産師という仕事の幅広さに驚きました。これからも多くの助産師を育てていただいて、県民が一人でも多く安心して子供を産む事ができ、更年期も老年期も安心して暮らせるような活動を続けてもらえればと思います。

公益財団法人
徳島経済研究所専務理事 **田村 耕一氏**

今日に至るまでの様々な悩みやスランプを自身で究明し、そして周りの方々と共に乗り越えていった。そんな、松永七重さんの前向きな姿勢を評価させていただきました。これからも頑張ってください。

四国放送株式会社
取締役報道制作局長 **岡本 和夫氏**

越久裕子さんのプレゼンで、なかなか面と向かって言いづらい「ありがとう」という言葉をカードにして届けるシステムに、すごく暖かみを感じさせていただきました。これからもどんどん続けていてもらいたと思います。

女あきんどネット 代表 **中村 多枝美氏**

今までは中身ばかりに気をとられていましたが、武市真希さんのような女性に私達は守られてるんだなと感じました。これからも食品の安全面・衛生面を守ってください。

第2回きらめく女性大賞
受賞者 **杉本 真理子氏**

皆さん、本当にきらめいていました。聞いているだけで笑顔があふれてくるようなプレゼンばかりで、すごく元気をもらいました。

徳島市長 **原 秀樹**

スタチの果皮は、本当に香りが良くて美味しいので私も大好きです。またこのたび堤理恵さんのプレゼンで、美味しいだけでなく健康にもよい作用があることを初めて知りました。この徳島の特産物であるスタチの素晴らしさを全国へもっと発信してもらいたと思います。今後とも頑張ってください。



完成度の高い プレゼンの数々に 敬意を表します

第3回きらめく女性大賞
審査委員長

AWAおんなあきんど塾 代表
(株)ココア堂 代表取締役

立川 真季

第3回目の「きらめく女性大賞」も、大きな感動と刺激、そしてさまざまな”ヒント“に出会えるステージとなりました。ご発表いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

毎回、書類審査を通過して入賞された皆様のご発表をワクワク、ドキドキ、一番楽しみにしているのは他でもない私たちAWAおんなあきんど塾のキャストです。そして今年もまた、私たちの期待をはるかに上回る精度と純度の高いプレゼンテーションに圧倒されました。この時間を、たくさんの皆様と共有できたこと自体に「きらめく女性大賞」を創設した意味や価値があるような気がしています。

皆様のご発表には、実践されてきた方だけが持つパワーと苦悩と達成感がほとばしります。さまざまな経験を乗り越え、未来を見つめるその目や言葉から、徳島の企業や各団体の活動ががちり支えているのは、女性の行動力や発想なんだなあ、と改めて実感することもできました。

徳島で働く女性にスポットを当てたい、徳島の女性の活躍を知りたいし、知らせたい!そんなシンプルな思いでスタートした「きらめく女性大賞」は、ご発表いただいた皆様の努力や熱意のおかげで、さらなる進化を遂げ次回につながっていくはずです。

つたない運営や進行で、審査委員の皆様はじめご来場いただいたお客様に何かとご不便をおかけいたしました。温かいご協力とご声援をありがとうございました。

私たちAWAおんなあきんど塾は、これからも徳島で働く女性がますます輝き、まちや企業を元気にしてくれる小さな活動を続けていきたいと思っています。

どうぞ、今後ともよろしくお願いたします。



さまざまな分野で働く女性を応援する「第3回きらめく女性大賞」最終選考会が2月16日、徳島市のふれあい健康館であり、シドニー五輪競泳銅メダリストで徳島ライフセービングクラブ代表の源純夏さんが大賞に選ばれた。審査では、子どもの命を守る活動に徳島の水辺を地域資源にという視点が加わっている点が評価された。

また、大賞以外の受賞者は次の皆さん。徳島市長賞＝堤理恵さん（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部実践栄養学分野栄養学博士）、徳島新聞社賞＝瀬戸恵深さん（月見ヶ丘海浜公園所長）、NHK徳島放送局局長賞＝森脇智秋さん（徳島文理大学助産学専攻科准教授）、四国放送賞＝越久裕子さん（西精工（株）総務部総務課労務係）、あきんど塾賞＝新野和枝さん（コミュニティ・レストランさくらcafe店長 管理栄養士）、武市真希さん（四国化工機（株）技術センター無菌技術研究課）、松永七重さん（（株）BIJIN group 佐古店長）。皆さんのプレゼンテーションと受賞の喜びをご覧ください。

大賞



水難事故ゼロを目標に!! また、水辺からの徳島の活性化を 目指しています!

徳島ライフセービングクラブ代表
スイミングアドバイザー 源 純夏さん

プロフィール/源 純夏（みなもとすみか）さん

徳島市八万町出身。徳島県立城南高等学校・中央大学法学部法律学科卒。1996年アトランタオリンピックと2000年シドニーオリンピックにおいて、自由形選手として出場。シドニー五輪では、日本女子代表として、400mメドレーレーンにアンカーの自由形で参加（背泳ぎ・中村真衣、平泳ぎ・田中雅美、バタフライ・大西順子）、3位入賞を果たし、銅メダルを獲得した。現在は子どもから大人までの水泳指導もしながら、徳島ライフセービングクラブの代表として活躍中。

私は水泳から、挑戦することの楽しさや人との出会いなど、広い世界を覚えてもらいました。2000年のシドニーオリンピックで銅メダルを獲得する事ができたのは、徳島の多くの皆様の支えや、応援があったからだと思っています。

メダルを取る夢を叶え、次の目標をと思った時、自分を育ててくれた徳島のために今度は自分が何かできないだろうかと考えました。しかしそのための具体的な方法をなかなか見出すことができず、20代のほとんどの時間を悩み、苦しみました。そんな中、ライフセービングに出会ったのです。

徳島市には誰でも利用しやすい公共のプールは非常に少なく、学校の授業でも泳ぎの指導を充分におこなえていないと聞きました。大人ですら、慣れていない人は水に対する恐怖感から、膝の高さの水の中でも思うように動くことができません。そんな人たちが水と触れ合う機会を増やすために、安全な水辺を提供して関わり方を伝えたい。そして自分の身を危険から守り、また、危険が迫っている人を助ける技術を教えたい。それが、私が徳島で広めていきたいライフセービングの姿です。

ライフセービングの必要性和重要性を知ってもらい、活動するための仲間を集めたい。その一歩目として、私はまず、日本ライフセービング協会が発行する資格を取得しました。次に、とにかくライフセービングの活動について話し回りました。徳島の水辺の安全を守りたいと話し、周囲からの好感触を得ながら、模索し続けて約2年。昨年5月に、徳島ライフセービングクラブが誕生しました。現在このクラブには、私の思いに賛同し、徳島の水辺をもっと良く知っていきたくてくれる仲間が20人ほどいます。しかしその全員が泳げる訳ではありません。泳ぐ事や、スポーツ自体が苦手な人

もいます。それでも、それぞれが自分のできる事を持ち寄れば、ライフセービング活動はできるのです。

昨年は発足したばかりでしたが、多くの人にご理解とご協力をいただき、年間20回以上の活動をおこなってきました。中でも、小松海水浴場のガードと、吉野川やプールでおこなった水辺の安全教室は、高い評価をいただきました。2年目となる今年も、既に様々な所からお話をいただいており、昨年以上の活動を予定しております。また、新しい試みとしてラジオ番組を始めました。水辺の安全についての情報などをお伝えしていますが、今後は防災意識の向上や、徳島のスポーツチームを盛り上げるような内容にも取り組んでいくつもりです。

私の目標は、徳島の水辺をもっとたくさんの人たちを楽しんでもらう事、そして、水の事故で悲しい思いをする人がいなくなるようにする事です。徳島市が目指す「心おどる水都・とくしま」の実現に向け、これからもお手伝いさせていただきたいと思っております。

●受賞の喜びとこれからの活動

本当にありがとうございました。ライフセービングというものを皆さんに知ってもらいたいと、応募させていただきましたが、まさか大賞をいただけるとは思っていませんでした。徳島にライフセービングを根付かせるために、これからも胸を張って、女性らしく、私らしく頑張っていきたいと思っております。

徳島のスタチには抗肥満・抗糖尿病効果等があることを発見。「徳島を栄養から元気に」!!

私は神戸生まれ神戸育ちですが、母親が勝浦町出身であるため、幼いころから年に2回訪れる徳島は私にとってのパワースポットでした。高校1年生の時に阪神・淡路大震災を経験し、家や親友を失った絶望の中で、それまで当たり前だった食べ物の大切さや、食べるということがヒトとヒトを強く結びつけてくれることを強く感じて栄養士の道を選びました。徳島大学大学院で栄養学博士を取得後、アメリカ・カリフォルニア大学サンディエゴ校に留学。2009年より現在の職についています。今は基礎研究から臨床研究まで幅広く行っていますが、今日はこのうちスタチ果皮成分の効果を紹介させていただきたいと思います。私たちは、スタチ果皮抽出成分であるスタチチンが抗糖尿病作用を示すことを発見しました。マウスの研究結果ですが、毎日経口摂取することで高脂肪食下でも体重増加や中性脂肪、体脂肪の増加が抑制されることがわかりました。また、血糖の上昇を穏やかにする作用もあり、昨年これらの結果を踏まえて2件の特許を取得。学会発表などを通して全国的なメディアにも取り上げられるようになりました。徳島県では年間2800トンものスタチの果皮が廃棄されており、その有効利用が求められる今、こうした果皮を活かした新しい機能性食品の開発に結び付けられればと期待しています。

このようなスタチをはじめ多くの果物や野菜を生産する関西の台所ともいわれる徳島。けれども糖尿病による死亡率は全国でもワースト1位。その理由として「歩かない」「食べ過ぎる」とは挙げられていますが、実際には野菜の摂取量も、タンパク質源である豚肉やチーズの摂取量も全国最下位レベルです。私はこの理由を、徳島のまじめで勤勉な県民性にあると思っていて、簡単におなかがいっぱいになる炭水化物の摂取に偏りがちな食生活や貯蓄が全国5位であることから、時間もお金も節約されていることがうかがえます。

そんな徳島県人のために私ができること。今は月に1回の栄養学のレクチャーを通して社会に情報発信をしています。また、実際に病気になった人に対しては、特に救急・集中治療領域での栄養管理を専門として大学病院での栄養管理も行っています。こうした活動からセミナーやシンポジウムなどでの講演、執筆活動を行ったり、海外の研究者・臨床家たちとのつながりにも広がっています。

家族や学生、栄養士や研究者の仲間たち、たくさんの人々に支えている毎日の中で、一番迷惑をかけているのは娘たち。それでもママ大好きだよといってくれる2人の娘は私の大切な宝物です。6月には第3子も出産予定です。こんな私たち家族に元気をくれる徳島に元気を返していけるよう、がんばりたいと思います。

徳島市長賞



徳島大学大学院
ヘルスバイオサイエンス研究部
実践栄養学分野栄養学博士 **堤 理恵さん**

●受賞の喜びとこれからの活動
すばらしい賞をありがとうございます。私はいつも、研究室という地味な世界のイメージがある所にはありますが、研究職はみなさんの身近なところにあると思っております。これからも、研究室と社会との橋渡しとなるよう頑張っていきたいと思っております。

徳島新聞社賞



月見ヶ丘海浜公園 所長 **瀬戸 恵深さん**

●受賞の喜びとこれからの活動
ありがとうございます。今回のプレゼンテーションを作るにあたって、日頃から色んな方に支えられている事をすごく実感しました。とてもいい機会になりました。素敵なメンバーに出会えた事にも、感謝しています。

チャレンジすれば、出来ないことは何もない。人と人を繋げ、みんなで楽しむことが目標

月見ヶ丘海浜公園は、松茂町にある徳島阿波おどり空港に隣接した県立公園です。公園内には宿泊用のコテージや無料バーベキュー施設、遊具広場などがあり、夏には海水浴場も開かれます。お子様からご年配の方まで、県内外から年間30万人以上の方にご来園いただいております。私が公園に勤め始めた3年前、公園の知名度はあまり高くありませんでした。そのため、事業部の私が最初に取り組んだ事は、定期的なイベントの開催でした。公園には何があってどういう事が出来るのか。それを知っていただくために、イベントというきっかけから公園に足を運んでもらおうと考えたのです。参加された方に楽しんでもらえる案を常に考えながら、最大限の可能性をイメージして取り組む事を大切にしています。一人では実現不可能な事も、周りの方の助言や協力があれば、たくさんイベントを生み出す事ができます。つながりがあると「できない事は何もない」と思えるのです。

たくさんのご支援・ご協力の結果、初年度は合計40以上のイベントの実施ができ、のべ2643名の方にご参加いただきました。これだけ多くのイベントを実施までもって行けたのは「伝える」事を大切にしてきたからだと思えます。ラジオ番組制作の勉強に参加していた学生時代、否定の言葉ばかりを口にするみんなに、文句なら代わりにアイデアを出してからにして、と言いつつあります。その日から私自身、否定する際はより面白い方向へと導けるように努めました。初めての事には不安が付き物ですが、否定だけでは何も生まれません。どんな小さな事でも、伝えてみれば密のある内容・企画へとつながってゆく事もあるのです。

最近では利用者の方から、公園の活用方法のご提案を多くいただきます。プロカメラマンの方からデジカメ教室、生け花の先生から親子向けの生け花教室のご提案をいただいた事もありました。あらゆる人の提案に耳を傾ける事で生まれてくる新しい瞬間をどんどん作り上げ、やりたい人がやりたい事を実現出来る環境を生み出しその方と公園をつなぐ。それが私の役目だと思っています。企画開催されたイベントは、参加者の皆様がとことん楽しめるよう、主催者の私もとことん楽しむようにしています。私が楽しむと、それが自然と参加者の方にも伝染していくのです。望遠鏡を作るイベントの時、一人で参加された60歳ぐらいの男性の方から、帰り際にとても楽しかったという言葉をいただき、嬉しさに飛び上がりそうになりました。やはりイベントやひとつの体験をより一層楽しむコツは、みんなと一緒に、という事なのだと感じました。

そんな、皆様にとっての「楽しい」という瞬間がもっともっと月見ヶ丘で生まれてくるように、そして人と人がつながる公園になるように。「やる・つたえる・つなぐ・たのしむ」を大切に、新たなチャレンジを続けていこうと思います。

女性と家族の人生の伴走者…

「命を繋いでいく」それが助産師です

NHK
徳島放送局
局長賞

助産師とは出生から老年まで、ライフワーク全てにおける様々な問題に関わり、その改善と健康増進に寄与する仕事です。女性が妊娠した時から、赤ちゃんを産む時、子どもを育てる時まで、常に女性と家族に寄り添います。私はその助産師という人間を、徳島文理大学助産学専攻科で育てながら、女性と家族の支援をおこなっています。

徳島市は母子関連に大変力を入れているので、助産師が活躍させていただく機会が多々あります。そうしていただいた機会の一環として、様々な講座や相談をおこなっております。妊娠中からお腹の中の赤ちゃんの身体づくりをおこなう、新米のパパとママに向けた子育て講座。子育て中のお母さんを支援する、在宅育児家庭相談室のおっぱい相談。こちらは個別相談を受けた後、少しでも気持ちが楽になるよう、お母さんの気持ちを受け止めてあげるようにしております。また、思春期の子どもを持つ親たちに向けた講座では、専門家としてだけでなく、同じ思春期の子どもを持つ親としてもお話しさせていただいています。

地域の中学校や高校で、思春期の子どもたちも支援しています。高校では、徳島文理大学助産学専攻科の学生とともに、性感染症の講座をおこないました。命の始まりを、赤ちゃんが生まれながらに持っている力を知っている私どもから、命をつないでいく健康な身体と健全な心のために、自分を大切にしてほしいと訴えております。大人になって、結婚して、また子どもを産んで、その全てが100万人の命につながっている。そして子どもたちの命もまた、そういった100万人の命からできているとお話しています。「今を大切に生きる事を大事にしながら、自分たちで命をずっとつないでいこうと思います」「自分が生きているだけで100点満点、という言葉が心に残りました。大人になっていく上で、本当に大切な事だと思います」子どもたちからこういう感想もいただきました。

また、更年期・老年期の女性も支援しており、私自身の更年期の体験のお話を交えながら、女性のホルモンの事を知る、その大切さをお話しています。このように、助産師という職業は、まさに女性と家族の人生の伴走者とも言える存在なのです。

私が一番元気をもらえる時、それは、立ち会った出産の現場で赤ちゃんが生まれる時です。生まれてくる赤ちゃんには、一人一人のドラマがあり、その場面はいつも感動的です。これからも、赤ちゃんに元気のエネルギーをもってパワーアップしながら、現役の助産師として、きらきらと働いていこうと思います。

徳島文理大学
助産学専攻科 准教授 森脇 智秋さん

●受賞の喜びとこれからの活動
どうもありがとうございました。助産師の仕事を理解してもらいたいと、ここにやってきました。少しでも助産師の活動を、皆様に知っていただければと思います。一生涯、助産師で頑張っていきます。これからもよろしく願います。

四国
放送賞西精工株式会社 総務部
総務課 労務係 越久 裕子さん

●受賞の喜びとこれからの活動
賞をいただいた事、嬉しく思います。一緒に発表させていただいた素敵な7人の方に出会えた事にも、感謝したいと思います。これからもまた、私らしく前を向いて、頑張りたいと思います。

人を笑顔にする「ありがとう」が詰まったカードに毎日ワクワクしながら仕事をする喜び

大正12年の創業以来、生産拠点を徳島に構える西精工株式会社は、ナット・ファインパーツなどの金属製品を製造しており、世界中の自動車や家電、情報機器やホビーなどあらゆる業界で利用されています。当社では一番大切な経営理念です。そして「徳島から世界へ」というビジョンを掲げ、お客様や地域の皆様に貢献できる会社を目指しています。

平成18年10月に入社した私は営業部に所属し、お客様を一番近くに感じられる仕事をしておりました。お客様から「ありがとう」と言ってくれた時の喜びは、今でも覚えています。当社には社員同士が感謝の気持ちを伝える「ありがとうカード」というツールがあります。全社員が毎月楽しみにしているこのカードは給料明細に同封され、感謝された人の元に届けられます。最近では社員の奥様やお子様から届くこともあり、また、ビジネスパートナー様に届いたカードを送らせていただいたところ、素敵なお礼状が返ってきた事もありました。

平成18年6月の導入時、62枚だったカードは、昨年12月には5000枚を超えました。管理は大変ですが、人を笑顔にする「ありがとう」が詰まったカードに、毎月ワクワクしながら仕事をする事で、感謝の気持ちを忘れずにいられます。

仕事と育児を両立させる事は、女性にとって大変な事です。出産・育児を理由に、退職を余儀なくされる女性はまだまだ多いのではないのでしょうか？女性が結婚・出産しても仕事が続けられる環境作りには積極的な当社は、次世代育成対策に取り組む企業としてくるみんマークの認定を受けています。私も出産前は仕事を続けるつもりでしたが、生まれてきた長男は超低体重児でした。退職も考えましたが、大家族主義の社風、仲間や家族に支えられ、無事、復帰する事ができました。現在は二人の息子を保育所に預け、育児短時間勤務制度を利用し、総務部で働ける幸せを実感する毎日を送っています。

私は子供を輝かせるお母さん、そして西精工の社員とその家族を笑顔にできるサポート役でありたいと思っています。周りの人を輝かせて、その灯りで自分もきらきらと輝く女性でありたいのです。これからもずっと、生まれ育った大好きな徳島で、子どもや仲間とともに成長しながら頑張っていきたいと思っています。

コミレスで、地域の皆様の美味しく楽しく 元気な毎日のお手伝いをしたい!

あきんど
塾賞



コミュニティ・レストラン
さくらcafe店長 管理栄養士 **新野 和枝さん**

●受賞の喜びとこれからの活動
本当にありがとうございました。皆様と、このメンバーに出会えた、素敵なお縁に感謝致します。今日をきっかけに、今まで以上に仕事を頑張っていきたいと思っております。

大学進学を期に故郷へと戻ってきた、徳島生まれ神奈川育ちの私ですが、長年病院栄養士として徳島で働いておりました。しかし昨年、病院を飛び出して今の会社に籍を移し、さくらcafeを立ち上げました。今の仕事の原動力は、大好きな徳島・畑・アフリカの3つです。それらが私の行動や仕事にどう関係しているのか、お話をさせていただきます。

1つ目は阿波おどり。学生の時、阿波おどりに出たいと三味線を始めて阿波おどりの魅力にはまり込み、社会人になってからも連に所属。徳島が好きになりました。やがて徳島で何かしたい、何か役に立つ事はできないかと思い始めました。

2つ目は沖縄。きっかけは三味線をやっていたことで興味を持った三線でした。本場の音が聞きたいと沖縄のガイドブックを読んでいたら、毎晩宴会と三線の演奏をおこなっている宿を見つけ、矢も楯もたまらず小浜島へ。宿で三線を弾いていたお父さんは、島の将来のため、新しい事にチャレンジしていく気質を持つ、尊敬すべき畑人（はるさー）でした。そうして、小浜島でお父さんの畑仕事を手伝わせていただく内に、畑が好きになりました。そこから安心して食べられる食材に関心を寄せるようになったのです。3つ目はアフリカ。NPOのスタッフとしてザンビアで1年、青年海外協力隊としてニジェールで2年間過ごしました。そこでは貧困に苦しみながらも自分の国や地域に誇りを持っている、素敵な人々との出会いがあり、アフリカが大好きになりました。しかし同時に、自分はどの地域に誇りを持っているだろうと自問自答するようになりました。やがて貧困の背景にあるのは私たちの便利な生活や環境問題だと気付く、何かをしなければならぬ、何が出来るのだろうかと思いました。以上の3つをきっかけに、様々な思いや考えが生まれ、栄養士としての方向性に悩みました。結果、エコクッキングをベースに環境問題に取り組む、コミュニティ・レストランという考えに至りました。地域の人が集まれる、いわばレストラン付き公民館のコミレス。そこでは食の安全と環境問題、主にこの2点を心掛けています。大変なところもありますが、家族や友人、周囲の人たちの理解や支えによって、どうかこうにか頑張っています。

コミレスはまだまだ始まったばかり。病院から飛び出した唄って踊れる畑人（はるさー）栄養士の私は、おせっかいでも地域の皆様の健康を願い、美味しく楽しく元気な毎日のお手伝いが少しでも出来たらと思っています。

機械づくりから食品の安全を守りたい! 立ち上げれ、徳島「メカ女子」!

あきんど
塾賞



四国化工機株式会社
技術センター 無菌技術研究課 **武市 真希さん**

●受賞の喜びとこれからの活動
ありがとうございます。自分の仕事を見つめ直す、いいきっかけになったと思います。機械という物は、少々とつきにくい印象があると思いますが、少しでも興味を持っていたら嬉しいです。これからも頑張っていきたいと思っております。

機械づくりから食の安全を考えている、我が社の「メカ女子」たちの仕事をご紹介します。まず四国化工機グループについてご紹介致します。我が社には機械、食品、包装資材の三つの事業部があります。多方面から総合的に食品に関わり「食文化の向上に貢献する」が経営理念です。私の在籍する機械部門では、食品充填機械と関連機器の製造・販売をおこなっております。

次に、私が働いている無菌技術研究課について紹介します。我が社の食品充填機械は、全自動で洗浄殺菌された機械によって、常温流通や賞味期限の延長などを可能にしています。私の課では、この機械の殺菌システムの研究開発や、機械の殺菌性能が基準に達しているかどうかを確認する容器殺菌テストや細菌検査といった、重要なテストもおこなっています。食品充填機にとって、殺菌システムは食品衛生の為に重要な部分です。安全で美味しい食品づくりの一端を担うという責任を感じつつ、日々取り組んでいます。その他にも、部品の性能検査や、自分で組み立てた機械での模擬殺菌テスト、部品を動かす為の電気回路の製作など、作業は様々です。私は元来機械音痴でしたが、職場で工具や電気回路などを扱ううちに、機械という未知の分野で新しい作業にチャレンジ出来る事に楽しみを感じるようになりました。自分が考えた新しい殺菌システムを殺菌部に搭載する。今では、そんな目標を持つようになりました。実験室には課内の女性ならではの改善がなされていたり、女性オペレーターに配慮した機械があったりと、女性が働きやすい環境になっております。私たちはあまり表面には出ず、縁の下の力持ち的な立場ですが、自分が関わった製品を身近に見かける度に、私も誰かの美味しいという喜びに関われたかなと、やり甲斐や達成感を感じています。

そして、地元の企業として徳島との関わりを第一に、子どもたちが機械に親しみきっかけをつくるために、徳大科学フェスティバルでは、子どもたちに向けて趣向をこらした体験イベント。あすたむらんどでは機械の展示など様々なイベントを開催しています。

我が社では、設計部門などにも元気な女性が進出しています。家庭の食を担う女性が、メカ女子として機械づくりから食の安全を守り、家族の健康に関わる。本当にやり甲斐のある仕事だと思います。機械に関してまだまだ未熟な自分ですが、徳島から全国、果ては世界へと出発する充填機とともに、今後も「メカ女子」目指して頑張ります。

若いスタッフたちがこの仕事の楽しさや、やりがいを体験しながら成長し、私自身も一緒に成長することが目標

あきんど塾賞

私は大阪で8年間美容師として働き、結婚・出産を期に仕事を辞めて徳島に帰ってきましたが、二人の子どもの子育てをしている内に美容師として働きたいと思い、BIJINグループの面接を受けました。この時、パートは一人も居ませんでした。しかし私はパートとしてのイメージは持たず、ただ働く時間が短いただけだと考えて、他のスタッフと同じように仕事をしました。

お客様に喜んでもらうために、心掛けていることが3点あります。まずは好みや悩み、職種や趣味の考慮。次に似合う・似合わないをはっきりとお伝える事。最後にヘアスタイルの再現性を考え、その方法までお伝える事。結果、前回担当したお客様から嬉しい反応をいただくようになりました。また、心構えとして大事にしている事も3点あります。お客様が嬉しいと感じる事を最優先する事、一番の笑顔でお迎える事、そして一番大事なポイントとして、お客様を好きになる事。これらを実践した事で、指名売上げも伸び、パートで店長という立場を与えていただきました。私はもっとお客様の笑顔を増やしたいと、より一層励みました。

しかし、しばらくすると売上げは停滞して、私の指名数も伸びなくなりました。その原因は私にありました。アシスタントに仕事を任せられないだけでなく、多過ぎた指示でスタッフから自主的に動く機会を奪い指示待ちの状態にさせていたので、受け入れられる客数が限られてしまったのです。そこでまず、教育担当スタッフと話し合いました。僅かな時間を見つけては、細かな技術の修正点を教えてもらえるようお願いしました。次にアシスタントが今考えている事を想像してから、指示をするようにしました。お客様のために行動出来ていたか、何を優先すべきなのかを一緒に考え、時間と回数をかけて私の思いを伝えるようにしました。それが功を奏し、アシスタントは今、技術に集中しながらも、仕事の流れを組み立てる事ができるようになりました。私も安心して仕事を任せられるようになり、アシスタントも仕事ができる楽しさを実感しています。昨年12月の指名売上げは、前年比115%となりましたが、もっと伸ばせそうです。私一人だったパート社員も、現在は6人に増えました。

美容師はお客様に合わせたヘアスタイルを提供するため、日々テクニックやトレンドを勉強し続けています。その笑顔への思いを追求する度、私やスタッフはもっと成長できる可能性を感じ、ワクワクしています。是非、進化し続けるBIJIN佐古店のスタッフに会いに来てください。



株式会社BIJIN group 佐古店店長 松永 七重さん

●受賞の喜びとこれからの活動
ありがとうございました。自分と、仕事についてじっくり考え直す事ができ、とても良かったと思います。またBIJINグループをよろしく願います。

きらめく女性に感動。お客様に感謝。

第3回きらめく女性大賞も無事閉幕いたしました。

受賞者のみなさん、おめでとうございます。

そして難しい審査をされた審査委員のみなさん、

ありがとうございました。

なにより、第3回きらめく女性大賞を応援して

盛り上げていただいた、多くの

お客様に感謝いたします。



▲第3回きらめく女性大賞受賞者の皆さんと審査委員の皆さん。そしてAWAおんなあきんど塾キャスト、スペシャルウォーキングステージ「歩くだけで美しく!!」でウォーキングを披露していただいた下谷和宏さんを交えての記念撮影。



平成24年度の AWAおんなあきんど塾を振り返って



AWAおんなあきんど塾 平成24年度リーダー
(株)立木写真館 常務取締役

立木 さとみ

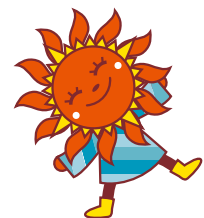
今年度は、昨年度「女あきんどネット」の事務局を担当いただいた3人を新キャストに迎え、16人体制でスタートしました。それにしても全16人…。たったこれだけの人数で大きな事業を年に二つも運営できるのは、多彩な業種の経営者の発想と、きめ細やかな心配り、前回より良いものという向上心、そして何事も楽しんでしまう阿波女の明るいパワーが結集した賜物でしょう。

【事業1】2年目となった「宮城・仙台復興応援物産市」は、初年度を大きく上回る13社+2団体から1500点もの商品を仕入れて販売。今年度も①被災企業から商品を仕入れる②徳島の方に被災地を忘れないでいてもらう③利益は寄付して支援…のトリプル支援が出来ました。終了予定時刻より1時間も早く

完売したのも、この事業が楽しみにされている証と思えます。ご来場・ご支援いただいたみなさまに心から感謝申し上げます。

【事業2】「きらめく女性大賞」は、3回目にして更にパワーアップ。17人の応募者から書類選考を通過した8人の入賞者によるプレゼンテーションは、すべて時間ピッタリ! 練習を重ねて臨んでくださったことが伺える、素晴らしい内容でした。運営も、手探りだった第1回、楽しむ余裕が出来た第2回、それぞれの反省を踏まえてさらに改善を加え、当日の綿密なリハーサルを経て、手作りとは思えないクオリティの運営が出来たと自負しています。ご応募くださった方、集中した審査を長時間にわたりてくださった審査委員のみなさま、ご来場のみなさま、本当にありがとうございました。

そして何より、今年度も一年間、キャストの活動を強力にサポートしてくれた事務局(徳島市経済政策課)のみなさまに感謝です。AWAおんなあきんど塾の理念を深く理解し、一緒に楽しんでくださるみなさまとの協働は、私たちキャストの誇りです。また私たちの活動を、いつも取材・報道してくださる各メディアのみなさまにも感謝。たくさんの方のご理解とご協力によって無事に一年を終えることができましたこと、深くお礼申し上げます。ありがとうございました。



講師プロフィール



(有)アン・モデルエージェン
ト代表取締役
阿波おんなあきんど塾 キャスト

青江 文

大阪(SOS)でモデル活動後、モデル事務所・モデルスクールを設立。1989年アン・モデルエージェン
トを創業。1998年(有)アン・モデルエージェン
トを設立。
プロモデル指導・育成の技術を活かし「美しく歩くことを意識した生活を」をモットーに、各分野でのウォーキング指導を担当。
一般モデルのウォーキング指導・ブライダルセミナー・セクスイメージアップセミナー・企業研修などで、講師を務め、多方面で活躍中。
また、カルチャースクールでは、歩き方・姿勢矯正などを重点に、常に女性のセクスイメージを提案。



(有)アン・モデルエージェン
トモデル兼マネージャー

下谷 和宏

1989年大阪のモデルエージェン
トに所属。現在アン・モデルエ
ージェントにてモデル兼マネージャーとして活動中。



第3回きらめく女性大賞の8人による熱いプレゼンテーションが終了後、審査発表までの時間にきらめく女性限定スペシャルウォーキングステージ「歩くだけで美しく!!」が開催されました。

美しく歩くということを皆さんは考えた事がありますか? 飒爽とエレガントに…。多くの女性だけではなく男性の憧れでもあります。お化粧品やファッションを最大限に生かすのは美しいウォーキングと美しい立ち居振る舞い。

(有)アン・モデルエージェン
トの青江文さんと下谷和宏さんから、スリムになれるウォーキングやエレガントウォーキングの指導を受けました。

ステージには若い女性はもちろん男性や小さなお子さん、徳島市イメージアップキャラクターの「トクシ」も加わり、歩き方の正しい姿勢や重心のかけ方など美しく歩く方法を楽しく教わりました。

途中から、観客の皆さんも一緒になって指導を受け、会場全体が一体となって青江さんの歩き方指導に聞き入っていました。そして、盛況の内にスペシャルウォーキングステージ「歩くだけで美しく!!」は閉幕しました。

これで、正しい姿勢・歩き方・立ち居振る舞いを学べたので、ダイエットのための食事制限もいらないし、歳を重ねるごとに美しさを増す優雅な女性に変身できるかもしれませんね。

青江さん、下谷さん楽しく有意義な時間をありがとうございました。お疲れさまでした。

きらめく女性限定!
スペシャルウォーキングステージ

Beautiful Walking
歩くだけで美しく!!

[講師] 青江 文(AWAおんなあきんど塾)、下谷 和宏



AWAおんなあきんど塾 キャスト一覧 (50音順)

(有)アン・モデルエージェン ト代表取締役 青江 文	プライベートアトリエ 代表 今城 実紀	(株)クラッシャー 代表取締役 植田 貴世子	(株)ひまわり 常務取締役 大岩 明代	(株)北野商事 代表取締役社長 北野 多津子	(株)あわわ 会長 坂田 千代子	(有)ケイトップス 代表取締役 高岡 慶子	モンド・ジャコモ(有) 代表取締役 高木 博代
(株)とまわ 代表取締役専務 高畑富士子	(株)コア堂 代表取締役 立川 真季	(株)立木写真館 常務取締役 立木 さとみ	(有)新居バイオ花&研究所 代表取締役 新居 洋子	(株)函南 常務取締役 西川 陽子	オートクチュール板東 代表 板東美千代	カラプロデュース ユリ代表 福永由里子	(株)本室松浦清造 代表取締役社長 松浦 素子

きらめく女性たちの活躍をご覧ください。 www.awaonna-akindo.com きらめく女性大賞